

つつが虫病

つつが虫病は、例年11月～1月に届出が増加するため2010年～2015年45週に届出された130例をまとめた。

2010年～2015年45週の診断月別届出数を図1に示す。

性別では、男性73例(56.2%)、女性57例(43.8%)だった(表1)。

年齢群別では、50代～80代が109例で83.8%を占めていた(表1)。

届出のあった保健所について年別・保健所別に表2に示す。130例中62例(47.7%)が安房保健所であった。

症状等は、発熱122例(93.8%)、刺し口116例(89.2%)、発疹114例(87.7%)、頭痛52例(40.0%)、リンパ節腫脹31例(23.8%)、肺炎1例(0.8%)、脳炎1例(0.8%)だった(複数報告あり)。

診断方法は、間接蛍光抗体法又は間接免疫ペルオキシダーゼ法による血清抗体の検出126例(96.9%)、分離・同定による病原体の検出7例(5.4%)、検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出6例(4.6%)だった(複数報告あり)。

感染地域として確定あるいは推定されたのは、千葉県127例、東京都1例、山梨県1例、韓国1例だった。

図1 2010年～2015年45週千葉県のつつが虫病年別診断月別届出数 130例

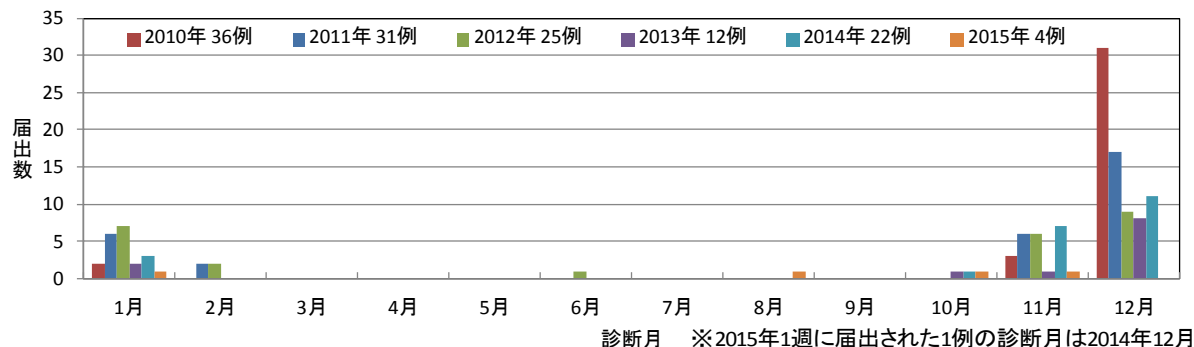


表1 2010年～2015年45週千葉県のつつが虫病年別・性別・年齢群別届出数

	2010年		2011年		2012年		2013年		2014年		2015年		合計		
	届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%	
性別	男性	18	50.0	19	61.3	15	60.0	6	50.0	12	57.1	3	60.0	73	56.2
	女性	18	50.0	12	38.7	10	40.0	6	50.0	9	42.9	2	40.0	57	43.8
年齢群	20代	1	2.8	3	9.7	1	4.0	1	8.3	0	0.0	0	0.0	6	4.6
	30代	0	0.0	1	3.2	2	8.0	1	8.3	1	4.8	0	0.0	5	3.8
	40代	5	13.9	1	3.2	1	4.0	1	8.3	1	4.8	0	0.0	9	6.9
	50代	7	19.4	4	12.9	5	20.0	2	16.7	5	23.8	0	0.0	23	17.7
	60代	12	33.3	8	25.8	7	28.0	4	33.3	6	28.6	2	40.0	39	30.0
	70代	6	16.7	8	25.8	7	28.0	2	16.7	5	23.8	3	60.0	31	23.8
	80代	5	13.9	5	16.1	2	8.0	1	8.3	3	14.3	0	0.0	16	12.3
	90代	0	0.0	1	3.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.8
	合計	36	100.0	31	100.0	25	100.0	12	100.0	21	100.0	5	100.0	130	100.0

表2 2010年～2015年45週千葉県のつつが虫病年別・保健所別届出数

	安房	夷隅	君津	海匝	印旛	千葉市	香取	山武	市原	松戸	長生	船橋市	合計
2010年	17	12	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36
2011年	13	11	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	31
2012年	12	7	2	1	0	1	1	0	0	0	1	0	25
2013年	8	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	12
2014年	10	5	0	1	0	1	1	1	1	1	0	0	21
2015年	2	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	5
合計	62	36	13	5	3	3	3	1	1	1	1	1	130